

シンポジウム

いしかわ

みんなで調べる生物多様性! 「生きものマップ」づくり ～市民科学とスマホAIアプリの活用～

主催: 石川県立自然史資料館, 共催: 石川県立大学 緑地環境学研究室

里山里海の生物多様性の減少に伴い、生物のモニタリングや保全活動への「市民参加」が期待されています。石川県内でも、様々な自治体や団体、個人が自然観察会やそれらを通じた普及啓発や生物情報の収集を行っています。生物多様性に関する横断的な活動ネットワーク作りを通じ、ノウハウや情報を共有していきたいと思えます。

本シンポジウムでは、市民科学やスマホのAIアプリを使った市民参加型の生物モニタリングに詳しい方々をお招きし、新たな生物多様性調査や保全活動のあり方について考えます。

日時: 2022年7月9日(土) 13時30分～16時00分

**場所: ハイブリット (オンライン方式: Zoomウェビナー
対面: 石川県立自然史資料館)**

【プログラム】

開会挨拶・趣旨説明: 中村 浩二 (石川県立自然史資料館 館長)

基調講演: 市民科学の多面的な意義とその活用

小堀 洋美 (東京都市大学 / (一社)生物多様性アカデミー 代表)

話題提供1: 生物多様性センターにおける市民参加型調査への取り組み
環境省生物多様性センター

話題提供2: 事例(生きもの調査アプリの魅力、アプリでできること/できないこと)
藤木 庄五郎 ((株)バイオーム 代表取締役)

話題提供3: 社会的側面から考える市民科学の意義と可能性
桜井 良 (立命館大学政策科学部 准教授)

話題提供4: いしかわの「生きもの調査ネットワークづくり」と今後の活動について
上野 裕介 (石川県立大学生物資源環境学部 准教授)

コメント: 野上 達也 (石川県自然環境課), 中野 真理子 (石川県立自然史資料館 副館長)
岸岡 智也 (金沢大学能登学舎 / 能登GIAHS推進協議会生物多様性WG)
小堀 洋美 (東京都市大学 / (一社)生物多様性アカデミー 代表)

申込方法: 以下の URL もしくは 右の2次元バーコードから事前に登録してください。

<https://forms.gle/SFdb1cLaXfCQiAks6>

問合せ: 石川県立大学 緑地環境学研究室 上野裕介 uenoyu@ishikawa-pu.ac.jp
石川県立自然史資料館 中村浩二 kojink@me.com



申込フォーム